

# 避難訓練（地震・津波・避難所開設）[8月30日]実施要項（新）

平成24年8月29日（水）総務（教頭）

1. ねらい (1) 生徒に地震発生・津波警報発令時における緊急避難の方法を身につけさせるとともに、教師が適切、迅速な避難誘導をできるようにする。  
 (2) 津波警報発令時における避難所開設の場面において、生徒、教職員、地域・保護者の方々が一体となって行動できるようにする。

2. 日時 平成24年8月30日（木） 10:50～12:15

\*雨天時は外への避難を行わず、理科室前ホールに集まる。

3. 参加者 北海道、根室市、警察、消防、保護者、地域、落石小（1～4年生）

3. 当日の流れ（事前準備作業・最終打合せ（9）時（30）分）

（時間） （生徒の動き） （職員の動き）

10:40～10:50

・教室で最終確認後、放課後設定で移動。  
 \*部活動・執行部・学習会とする。

・各指導場所で生徒指導に当たる。

<地震想定>

<小学生 1年教室に待機し避難する>

10:50～

<緊急避難放送（教頭） \*震度7クラスの地震発生>

「訓練です。訓練です。緊急避難通報を発令します。

ただいま、校舎が大きく揺れています。安全な姿勢をとり、地震がおさまるのを待ちなさい。」（繰り返す）

\*教室等 机の下にもぐり込み、机の脚をしっかりと持つ。<前後に！>

\*その他 物が崩れず、壁・ガラスから

\*職員は「安全な姿勢」をチェックする。

（30秒後）「大きな揺れがおさまりました。生徒は先生の指示に従って、近くの避難口から大至急避難しなさい。」（繰り返す）

\*避難場所 グラウンド中央  
 （グラウンド状況により駐車場）

\*避難口 玄関・給食搬入口・体育館

\*上靴のまま外に出る

\*「押さない」「話さない」「離れない」を守り、周りに注意をしながら避難する

\*時間計時・・校長先生

<避難する際の職員の動き>

\*避難口確保・生徒誘導 各担当職員・近くにいる職員

それぞれ残っている生徒がいらないか大声で確認をしてグラウンドへ

各避難口最後の職員は、校舎から少し離れ、教頭の手の合図で確認。

\*貴重品・必需品持ち出し ・ T ・ さん ・ さん

職員室のチェック、救急箱、必需品等の持ち出し

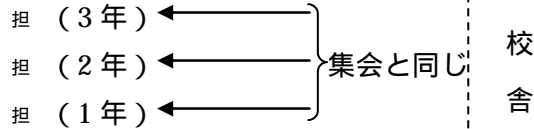
\*できるだけ担任は避難場所で受け入れ体制がとれるように、お互いに声を掛け合って確認をする。

(時間)

\* 整列 (落石港側を向く)  
(駐車場の時はグラウンド側を向く)

<グラウンド>

\* 職員は生徒と校舎の間に入る。



\* 小学生は独自に避難・整列。

\* 整列指導

- ・各担任 生徒に整列指示
- ・T けが人等のチェック状況に応じて応急手当  
列から抜けた生徒を必ず報告する。
- ・他職員で校舎の倒壊・車両の進入に気を配りながら誘導・整列する。

\* 人員確認

<人員確認の流れ>

\* 順番: 級長 学級担任 教頭 校長 <担任も級長と同時に確認をする>

\* 報告: どの生徒でも状況をハキハキ報告できるように事前指導しておく。

「 年生、 名、全員います」

「 年生、 名、欠席の・・・以外全員います」

「 年生、 名、・・・が治療している以外全員います」

「 年生、 名、・・・と・・・が揃っていません」

\* 報告が終わったクラスからその場にしゃがむ

\* 人員報告された時点で計時  
を一時ストップする。  
(校長先生)

11:00~

<火災訓練>

\* 火災訓練のみ保育所が参加

「地震の影響で火災が確認されました。消防車による消火活動を行います。」

\* 衛星携帯電話を使用し、消防へ連絡(渡部)

\* 消火活動及び消火訓練(校舎側へ移動)

・消防車より校舎へ放水(落石消防団)見学

・水消火器での消火訓練

\* 生徒の移動指示

11:15~

<津波想定  
訓練>

「ただ今、(大)津波警報が発令されました。」

「本校は、この地域の避難場所になっています。これから校舎の安全を確認  
しますので、このまま待機して下さい。」

\* そのまま待機する

・自分の場所を勝手に動かない

・迎えが来ても家には帰らない

\* 校舎の安全確認

1階  
(玄関~体育館)

2階  
(各教室の確認)

と家庭科室の解錠を行う)

安全確認後、  
必ず報告する

(時間)

(生徒の動き)

(職員の動き)

「校舎の安全が確認されました。これから校舎2階へ避難します。先生の指示に従って、速やかに移動してください。」

\* 避難場所 中学生 2年生の教室  
小学生 1年生の教室  
地域の方 家庭科室

\* 各担任は避難場所を指示する。(保護者は自分の子どもと同じ場所へ)

\* 玄関に雑巾を用意し、上靴の汚れを拭いてから2階の各教室へ避難  
しっかりと拭くこと(保護者・地域の方はスリッパ)  
雑巾・バケツを事前に準備(保体部・さん・ )

\* 教室に入ったら、勝手に出歩かない。

人数確認 2教：担任 1教：小職員 家庭科：  
それぞれ合計人数を職員室へ 市担当職員へ  
「 年教室、中学生・職員 名、全員います。その他 名、合計 名です。」

「全員避難の報告がありました。この後、体育館に避難所を開設しますので、それぞれ準備を行って下さい。」

判断は本部(市職員) 職員(学級担任) 生徒へ

\* カーテンを閉め、電気を使用せずに行う。

先に中学生・職員が行動 避難場所ができたら三年生が小学生等を誘導。

<担当と内容>  
本部開設・・・本部設置(職員室・体育館) 避難名簿、情報の収集・発信  
校長・教頭・ T・ さん・ さん、市担当職員  
電気・食料の提供・・・物資の移動、発電、炊き出し・提供  
1・2年生の生徒・職員(生徒16名 職員5名)  
人の誘導、安全確保・・・人の誘導、避難場所の確保、ケガ人等への対応  
3年生の生徒・職員(生徒11名 職員2名)

<救命救急行動訓練>  
・ A E Dを利用した救命救急・・・職員による実演(生徒・参加者は見学)  
・ 補助生徒(3年生)  
・ ケガ人(ダミー人形)の搬送(急担架の使用)・・・体育館から保健室へ  
・ 3年生5~6名

<炊き出し提供訓練>  
・ 備蓄食料の提供(実食)・・・1・2年生の生徒・職員  
\* 小学生・保護者等へ提供、作り方などの交流

・ 訓練のまとめ(全体確認)  
\* 各担当より簡単な講評後、解散  
(生徒は教室へ戻り、感想等記入へ)

\* 担任以外職員で後片付け  
(数が多いので、昼休みにも生徒の協力を得て行う)

11:25~  
<避難所開設  
訓練>

11:55~

12:10~  
12:15

< 事前準備 >

( 避難用 )

- ・ストップウォッチ ・拡声器 ・雑巾・バケツ ( 靴拭き用 )
- ・出席簿 ( すぐに持ち出せるように分かりやすい場所に置いておく 持ち出し： さん )
- ・重要書類の持ち出し ( ダミー )： さん

( 体育館用 )

- ・ポット 3 ( 2 つはお湯を入れておく、 1 つは水を入れて電源からお湯を沸かす )
- ・ふきん ・雑巾 ・ゴミ袋 ・箱ティッシュ など

今後に生かしていくためにも、各担当で「必要なもの」について考えておいて下さい。